

平成 28 年度事業計画書

事業実施の方針

- * 地域資産の活用として町家再生・利活用と資金調達「宮坂町の家プロジェクト」
- * 伝統的構法を用いた木造建築物の防災・耐震化促進活動「宮坂町の家プロジェクト」
- * 市内外の多様な団体および専門家の参加と協働「宮坂町の家プロジェクト」
- * 暮らしの質を高める活動の実施（e-コミュニティ研究所、「宮坂町の家プロジェクト」）
- * 備中 no 町家 de クラスの実施（備中町並みネットワーク主催）
- * 備中町並みネットワーク（第 3 回備中町並みゼミ 2016 浅口大会開催）
- * 10 周年記念誌発行準備
- * 歴史的町並みの保存に関する研究・調査・啓発と提言
- * 中心市街地の町家悉皆調査継続
- * 中心市街地活性化計画に伴う事業の推進（公共空間の整備）
- * 教育機関との協働事業(COC事業・倉敷芸科大、川崎医療福祉大学、水島工業高等学校)
- * Kurashikimaps プロジェクトの活用

《展開》

設立以来初めて町家（鶴形 2 丁目）を取得した。取得した地域資産の再生利活用を図るため、町家再生、資金調達のなどの枠組みを作り、会員と地域住民、地域活性化をめざすまちづくり活動団体、行政、企業、教育機関、全国の町家再生に取り組む団体などとともに積極的に協働してこれまで以上に公益性の高い事業を進める。

備中地域の町並み保存団体との交流・情報交換などを目的に立ち上げた「備中町並みネットワーク」の進展を図り、町並み保存を進めるためのソフト事業として昨年に引き続き備中地域の町家を舞台に「備中 no 町家 de クラス」を開催する。

都市美は公共空間の景観に左右されるといわれる、中心市街地の公共空間の質を高めるために、歩行者空間の整備を進める。

e-コミュニティ研究所の地域高齢者の生活現状調査をもとに、今後地域コミュニティと連携して高齢者支援のみならず支援を必要とする住民の課題解決を図るためのしくみづくりを支援する。

今後予想される南海・東南海地震時の減災や日常の町家の防火・耐震化促進を視野に入れた活動を展開する。

このような活動を継続推進するため、特に事務局機能の充実と、地域住民とのコミュニケーションを図りながら、会員、地域住民、各種団体、教育機関や企業、行政との協働で作業を進める。

1) 広報と情報提供

- ・ 暮らしき手帖の発行・ホームページ、ブログ、facebook など情報発信。メールマガジンの発信とメディアへの情報提供
- ・ 講演会、展覧会などでのパネル展示

2) まちづくり活動の企画、協力、連携など

- ・「備中 no 町家 de クラス」の実施
- ・まち歩きなどの企画・各種フォーラム、講演会、協議会に参加し、発表
- ・教育機関と連携して町家改修、公共空間の整備、コミュニティの課題解決
- ・備中町並みネットワーク参加（第3回備中町並みゼミ 2016 浅口大会開催）
- ・倉敷東社会福祉協議会参加
- ・中心市街地活性化協議会
- ・東学区コミュニティ協議会まちづくり特別部会
- ・全国まち並み保存連盟。9月：第36回全国町並みゼミ大内・前沢大会へ参加
- ・高梁川流域学校への協力
- ・政策提言
- ・第7回全国町家再生交流会(平成29年度)開催へ向けての準備

2) 地域資産の再生利活用

- ・「宮坂町の家プロジェクト」
- ・再生町家を事務所として活用・交流事業 倉敷市東町1-2-1名倉家
- ・旅館業の認可を受けた「御坂の家」事業継続
- ・COC事業への協力「まちなか研究室東町」（倉敷芸術科学大学）
- ・倉敷トワイライトホーム運営協力（川崎医療福祉大学）
- ・中心市街地町家調査

4) 事務局体制の充実

- ・事務所およびスタッフ充実
- ・財源確保のための補助金等への申請

5) その他事業推進のための活動等

《組織の運営》

1. 理事会の開催 毎月1回 第1金曜日 10:00～
2. 部会、プロジェクトの推進 各種事業の運営管理を徹底するため理事を中心に部会運営を進め、必要に応じて各種プロジェクトチームを構成し事業の進行を図る。